

## 「今後の小中学校のあり方実現に向けた実施計画（後期）」に対するパブリックコメントの実施結果について

### 【パブリックコメントの実施概要】

- ①実施期間 令和7年2月13日（木）から3月4日（火）まで  
 ②閲覧場所 市役所本庁、益田駅前ビルEAGA1階 教育総務課事務所、美都・匹見分庁舎、各公民館での閲覧、市公式ウェブサイトにて閲覧  
 ③周知方法 市公式ウェブサイトへの掲載による周知及び告知放送による周知  
 ④意見者数 20名  
 ⑤意見件数 38件

### 【ご意見の内容及びその内容に対する市の考え方】

1. 実施計画（後期）の内容に対する理解度 1. 理解できる（ある程度）…>17名 2. 理解できない…>1名 3. 分からない…>2名  
 2. 頂いた意見とそれに対する市の考え方

|   | 頁   | 意見の趣旨   | 市の考え方  | 計画への反映 |
|---|-----|---|--|--------|
| 1 | P.2 | 2,3ページに学級数が掲載されていますが、この中に特別支援学級数は含まれているのでしょうか。  | 2,3ページに掲載されている学級数については、特別支援学級を含めた学級数で記載しています。  | 無      |
| 2 | P.2 | 生徒数と学級数の推移と将来推計について<br>・何かしらを根拠に予測されていると思うが、あまり信頼できない箇所や予測が非常に難しい場合があるのではないかと。今後においても、5年や10年という計画期間に拘らず、随時、現状を踏まえた対応（変更など）が必要だと思う。<br>・例えば美都中学校においては部活動制限等のため、他中学校へ進学する生徒数が多い現状があり、令和10年度に27人という数字は、非現実的であると思う。 | 生徒数と学級数の推移と将来推計については、地区内に住所を置く児童の全てがその住所を校区とする中学校に通う場合を想定して推計したものです。校区外就学等は想定していない中での推移となります。よって、頂いたご意見も踏まえて今後の生徒数等の推移を注視しつつ、今後の対応を図ってまいります。 | 無      |
| 3 | P.3 | 公共性機能を取り込んだ新たな学校づくりについて、現状で当初より小学校と公民館などの施設が隣接していたところについては絵が描きやすいが、それが離れている地域については、物理的な距離の問題で今後も進捗の可能性が見られないのではないかと？地域と小学校とのかかわりを密にする取り組みを推進する仕組みが必要である。  | 計画案に記載したような事例もありますが、それぞれの機能を集約することが物理的な問題等でできない場合もあります。ご意見のとおり、地域と小学校とのかかわりを密にする取り組みを進め、計画にもあります「学校を核とした地域づくり」に継続して取り組んでまいります。               | 無      |
| 4 | P.3 | 公共機能を取り組んだ学校づくりについて、小学校を地域の核として社会教育の場とすることは大いに賛同できます。各地区公民館・自治会等と共同で前進してください。   | これまでの取り組みに対して賛同いただきありがとうございます。地域に開かれた学校をめざして、引き続き関係者と取り組んでまいります。   | 無      |
| 5 | P.4 | 小学校と地域との取り組みについては、地方部の小学校ほど地域との連携が十分に取れているように感じる。そのことから小学校の在り方は、地域と共にという計画の形で問題ないと思う。   | No.4における回答のとおり   | 無      |

|   |     |  |   |   |
|---|-----|--|---|---|
| 6 | P.6 | <p>小野中学校の統合について、美都中学校よりも人数の多い学校において（過去には鎌手中学校）統合の話が十分に進んでいることから保護者と地域との今後を見据えた上で問題意識の中で議論が行われたものと推察される。一方でP8以降の横田中学校については地域との取り組みの検証が少し行われているが、中西中学校、匹見中学校においては表面的な部分しか検証ができていないため、学校再編についての意識の低さがうかがえる。美都中学校においては保護者間での協議が行われ、保護者間での問題意識は十分にあるものとうかがえる。</p>   | <p>小野中学校の再編については、再編の実施計画に基づき、地域に保護者や地域住民等で組織する「再編対策協議会」を立ち上げて頂き、直面する子どもたちの状況を様々な立場で議論を行ったことによるものと考えます。美都地区においては、これまでも保護者間における協議が行われており、地域全体で考えていくという意向が話し合い等でも伺えます。しかしながら、横田中学校や中西中学校、匹見中学校は、保護者より地域において再編への考え方に違いがあることなどの意見が出ています。これらの状況を踏まえ、計画策定後にはそれぞれの地域に児童生徒の今後の状況を周知することとしています。</p> | 無 |
| 7 | P.7 | <p>この計画には「小学生は地域で育て」とあり、こども計画にもインクルーシブな保育・教育体制を推進するとありました。障がいのある児童生徒、特に小学生は各地域の小学校で学ぶことができる体制を推進していくと理解して良いですか。</p>  | <p>障がいのある児童生徒に限らず、支援が必要な児童生徒にも十分配慮しながら、体制整備の検討を含め、議論を重ねた上で進めてまいります。</p>   | 無 |
| 8 | P.7 | <p>子ども計画P.51基本目標3の配慮が必要な子どもの育ちを支える環境の整備 ①配慮が必要な子どもへの支援として、「今後、支援学級や支援が必要な子どもの増加に伴い、新規の支援学級の担任や支援員も増加しており、研修や訪問の機会を十分に準備する必要があります。また、支援をより明確にするためにも、発達検査などを行い、客観的な視点が必要ですが、発達検査を行える人材が不足していることが課題」とありました。この実施計画では、西益田地区では保小中養護学校が連携して取り組んできた経過もあり、児童生徒の学びを育んできたとありました。美都でも保育園児と小学生の共同の活動や、中学生の保育体験などが行われています。保育所では、障がいのある園児も看護師を配置して保育されています。地域の保育所に通所できていた子どもは障がいのあるなしに関わらず、地域の小学校に就学できる体制を進めていただきたいと思います。小学生は地域で育て、それは障がいのある子どもも同じです。ともだち、きょうだい、地域の保護者の繋がりもあります。障がいや医療的ケアで配慮や支援が必要な小学生も、「地域で育む」ために必要な教育環境を整えていただきたいと思います。</p> | <p>No.7における回答のとおり</p>   | 無 |

|    |     |   |  |   |
|----|-----|---|--|---|
| 9  | P.8 | <p>中学校における教育の質を確保するために一定規模以上の学校に集約することは、理解できる。</p>  | <p>児童生徒数が減少する中で、中学生期においては同世代によるコミュニティの構築が必要であり、集団の中での社会性を養うためにも1学年複数クラスの確保を目標として、再編を検討することとしています。</p>  | 無 |
| 10 | P.8 | <p>中学校と地域との関わりについては、後述の方策などにより維持することを配慮する。</p> <p>○最寄りの学校にさみだれ的に集約していくのでは、統合される学校生徒の教育の質の飛躍的向上は望めず、単に周辺地区在住生徒の通学時間や手段の負担、制約が増すだけの後退の戦略になってしまい、結果的に市全体の教育水準の向上にもつながらず、益田市への移住等を検討する場合のメリットにならない。</p> <p>○親の多くも市街地中心部に通勤しているような実態を考慮すると、この際、過疎をバネに飛躍する戦略として、市街地中心部、或いは各周辺地域からの交通の便がよい場所に、市街地中学校に通常の方法では通学が不便な周辺地域全てを通学範囲とする新校1校ないしロケーションによっては2校を開設する</p> <p>○新校は、整備、スタッフ、教育カリキュラムともに市街地既存校の水準を大きく超えるものとし、学校集約により県費負担人件費が大幅に節減できる県にも教員配置数の特例、きめ細かい教育を実現する教員以外のスタッフ配置等の経費等について、節減額に見合う範囲で協力を求め、圏内の人口減少に伴う、学校教育の魅力向上のモデルケースとする（高校魅力化の中学校版）</p> <p>○集約対象校の生徒には、新校、隣接校区校、その他の事由があればその他の市内の学校の中から、進学校を選択することができるようにする</p> <p>○通学に関しては、スクールバスのない公立高校と共通の通学バスを運行することとし、路線バス会社が旅客増で運行採算が向上する場合には適切な経費負担で運行を要請し、それ以外の地区には、通学生の数に応じて適切な交通手段を市の責任で用意する</p> <p>その経費は、集約対象校の維持経費等の減による節減等を充てる</p> <p>登校時間等も交通手段に応じて柔軟に対処し、親の送迎等で早く登校等する子には授業開始までの居場所も用意する</p> <p>(場合によっては私立高校等も共同化の利便をアピールして参画を呼び掛ける)</p> | <p>これまで「今後の小中学校のあり方に関する基本指針」や「今後の小中学校のあり方実現に向けた実施計画」に基づき、小学生は地域で育て、中学生はより多くの同世代の中での育ちを促すことを掲げて、取り組んでまいりました。</p> <p>頂いた意見においては、今後新たに計画を策定する際の参考意見となるものやこの計画を進める中で必要になる意見もあると感じています。</p> | 無 |

|    |      |  |   |   |
|----|------|--|---|---|
|    |      | <p>○市街地の既設校校区の生徒については、新校への進学は当面認めないが、新校の魅力が増し、定員に余裕がある状況であれば認めることも考えられる</p> <p>将来の市街地の生徒数の推移によっては、その再編の中に組み込むこともあり得る</p> <p>むしろ新校がモデルとなって、既設校についても再編、校区撤廃・緩和等により、特色ある中学校を選択することで、益田市全体の教育に対する魅力向上が実現すれば、移住・定住の増にも資する可能性がある</p> <p>○新校の特設科目或いは部活動として、地域活動を設け、週の特定の日午後などに地域に戻して、地域の有志との協働による経験をすることで、高校段階の探求学習にもつなげる</p> <p>学童、保育園との異年齢共同も考えられる</p> <p>○効果的に実施するためには3年後等に一齐に転換することが望ましく、その時点で在生も含めて、新体制に移行する</p> <p>○新校開設時に、公立高校の再編等が話題になる可能性があれば、将来における高校との敷地共有、中高接続を意識した連携も視野に置いた計画とする</p> <p>○現在の校舎については、耐用年数などを考慮して転用策を柔軟に検討する</p> <p>可能であれば、移住して起業するひとや、ソーシャルビジネス、ローカルプロジェクトを志す個人・団体の活動拠点として最低限の初期整備をし、提供する</p> <p>○匹見地区については、小中一体の深化を図りつつ、新校のサテライトとしての位置づけ等、別の発展策を考える余地がある</p> <p>地区の生徒、保護者等の意向を尊重して、新校プロジェクトと並行して判断する</p> |   |   |
| 11 | P.8  | <p>また小規模校ばかりに目が行きがちではあるが、逆に生徒数の多い中学校の学校運営に問題は無いのかも検討が必要である。人数が多いがために主体性のないものも少なからずいると思われ、また不登校やいじめの問題も人数が多ければ対処の遅れや見逃しにつながる。中央への集積も必要であるが、逆に地方への分散も一つ視野に入れても良いのではないか。</p>  | <p>ご指摘のとおり、大規模校においても学校運営におけるメリットやデメリットがあると認識しています。基本指針にある小学校や中学校の今後の学校のあり方を踏まえながら、誰一人取り残すことのない教育を推進したいと考えます。</p>  | 無 |
| 12 | P.11 | <p>中学生自身の意見や、これまで学校運営を努力されてこられた先生方のご意見もぜひ聞きたいと思います。</p>  | <p>計画の見直しにおいて、学識経験者や学校長、保護者等で組織する「学校整備計画審議会」に対して、計画策定に必要な事項を諮問し、慎重審議の結果に基づき答申を頂いたところです。その中では、学校の先生の意見も頂いたところです。この答申を基に計画を策定しており、今後の計画推進に向けては、中学生自身の意見を参考とする機会を設定するなど、ご意見を踏まえながら取組んでまいります。</p> | 無 |

|    |      |   |   |   |
|----|------|---|---|---|
| 13 | P.11 | <p>美都中学校の校舎が見える地域に暮らしています。</p> <p>民生児童委員会で学校を訪れたり、高齢者の会で給食を頂いたり、毎日農道を走る先生、生徒さんに声をかけたり、掛けられたり、地域の中に中学校があるのは当たり前のことでした。少人数で、部活も思うようにできない、体育祭や文化祭も少ない人数では難しいことも目にしてきました。そのなかでも、校長先生が少人数でもできる、誇りをもって学校生活を送れるよう声をかけていると話されていたことを覚えています。</p> <p>計画にあるように、多くの同世代の仲間と出会うことの大切さ、多様性を学ぶことができるコミュニティ、環境が必要なことも理解できます。保護者の方も「生徒の育ちを第一に」やむなしも含めて再編に賛成の方が多かったと察します。しかし、20%の保護者は美都中学校の存続を望んでおられます。いろんな事情があるかと思います。今後も生徒たちへ細やかな対応を望みます。</p> | <p>ご意見の中にある美都中学校の状況については、教職員や地域の方より直接お聞きしていたところです。基本指針にあるように「同世代とのコミュニティ」をしっかり構築することで、その集団の中で社会性を養うことができることから再編への賛同を頂いたのではないかと考えています。美都中学校の存続を望む保護者も含め、再編を検討するにあたっての協議を丁寧に進めてまいります。</p>         | 無 |
| 14 | P.11 | <p>これまで、職場体験等、地域で行われてきた学習の時間をぜひ美都地域でも希望があればできるようにしていただきたい。</p>  | <p>子どもたちにとって多くの方々と関わることは発達段階において必要な事項だと考えています。学校や関係機関とも調整しながら、多くの体験ができる環境を提供してまいりたいと思います。</p>   | 無 |
| 15 | P.11 | <p>現在美都中学校にある美都学校給食共同調理場は存続できますか。地元の方が作っておられる学校給食は美味しく、美都の子どもたちへ食育として大切な役割を担ってきたと思います。小学生には今後もこの学校給食を食べさせてあげたいです。</p>   | <p>美都学校給食共同調理場については、現状において廃止は考えておりません。再編となった場合においては、地元産の食材を使った給食を多くの児童生徒へ食べてもらうためにも、学校給食の提供方法及び配食校については、今後検討してまいります。</p>  | 無 |
| 16 | P.11 | <p>美都の良さ、地域との関係性を続けていく仕組みづくりを公民館等と連携できないでしょうか。</p>  | <p>No., 1 4 における回答のとおり</p>  | 無 |
| 17 | P.11 | <p>学校がなくなると、地域の活力がなくなるといってもわかりますが、一番大切なのは、学ぶ子どもたちの環境ではないかと…。学校で学ぶのは子どもたち自身であって大人ではありませんので、同世代のたくさんの子どもたちがいる環境で過ごすということが必要と感じます。同世代の友だちと過ごせる期間というのは少なく、その期間なのに、限られた人数、友だちも選べないというのはとても残念に思います。美都中学校は令和10年度に27人と予測が出ていますが、全員が美都中学校を選べば、ということで、他校へ行く子がいるであろうと考えるとこの数字も少なくなる可能性が十分にある。そう考えると、1日でも早く再編に向けて動いていくことが必要なのではないかと思います。</p>  | <p>一番大切なのは学ぶ子どもたちの環境です。特に児童生徒数が減少する中で、中学生期においては同世代によるコミュニティの構築が必要であり、集団の中での社会性を養うためにも1学年複数クラスの確保を目標として、再編を検討することとしています。今後保護者の皆さんのみならず、多くの方々の意見を頂きながら子どもたちにとって最善の教育環境が確保できるように進めてまいりたいと思います。</p> | 無 |

|    |      |   |   |   |
|----|------|---|---|---|
| 18 | p.11 | 部活等で他地区の学校を選択できるように、大人数が苦手な生徒が美都中学校のような小規模校を選択できないのでしょうか？（不登校だった子が、学校に通うようになった実績もある）  | 市教育委員会においては、いろいろな理由によりご自身の住んでいる地区以外の学校へ通学を希望する場合に校区外就学という制度があります。ご事情に応じた対応も可能ですので担当課にご相談頂ければと思います。  | 無 |
| 19 | p.11 | 地域から学校がなくなるという事は、人口減少を促すことになる。ただ、その為に子供が犠牲になってはいけない。だからこそ、多くの意見が必要だったのではないのか？         | 北仙道地区などでは学校が再編され、地区内には学校がないものの著しい人口減少には至っていない状況も見受けられます。子どもたちも再編先に登校はしていますが、地域の子どもたちであることには変わりません。今後美都中学校の再編を検討するにあたっては、ご指摘のように多くの方々の意見を頂きながら進めて行くこととしています。 | 無 |
| 20 | p.11 | 学校の無くなった地域に、次世代が子育てに帰ってくると思えない。自分の子供たちの世代が故郷に帰って、子育てしたいと思える場所にするのが我々の役目だと思う。          | ご意見の中での子育てしたいと思える場所にするのが役目だというご意見については理解いたします。地域の子どもは学校がなくなっても地域の子どもですし、魅力ある地域づくりに向けて、小学校を核とした地域づくりを進めながら次世代が子育てに帰ってくることができるよう皆さんと一緒に進めてまいりたいと思います。         | 無 |
| 21 | P.11 | 美都中学校と益田東中学校の再編については、美都地域内においても今後十分な協議が必要である。鎌手中学校、小野中学校の事例も十分に理解した上で再編についての検討が必要である。 | ご意見のとおり、地域内における多くの方々からご意見を頂きながら、十分な協議調整が必要と考えます。これまでの再編における事例を説明しながら、保護者や地域の方々等で構成する「再編対策協議会」を地域で立ち上げて頂き、そこを窓口として市教育委員会と協議を進めることとなります。                      | 無 |

|    |      |   |                            |   |
|----|------|---|----------------------------|---|
| 22 | P.11 | <p>美都中学校と益田東中学校との再編に向けてはやむをえないと思います。昨年度にアンケートがあった頃から、子供とも話を始めました。美都中学校に入学するとして、同級生全員（東仙道小学校も含め）が行くとはかぎらない。授業や生活していく中で、先生の目が行き届きやすいのかなあとと思いますが、人数が少なくて、できない事や制限されてしまう事もあるのかなと思います。益田東中学校に入学するとして、より多くの友達や同年代の人と出会い、いろんな事、社会性など学んでほしいと思います。子供も親も益田東中学校への入学を希望したいと思います。そして、交通手段、スクールバスが通えば希望する家庭も増えると思いますし、益田小学校との交流も早急に進めてほしいなあとと思います。豊川小学校・東仙道小学校とは、サッカーやバスケット交流会もあって、子供も喜んでます。いろんな意見や思いがあると思いますが、子供達の未来を考えていきたいと思います。</p> | No.1 7 における回答のとおり          | 無 |
| 23 | P.11 | <p>部活動が本当の理由ではなく、少人数で、性差を考慮すると更に限られた仲間同士で多感な思春期を過ごすことが子どもにとってどう影響するのか不安をおぼえ、ある程度の規模で、自分と相性の良い仲間を見つけ、学校生活を自分なりに楽しみ、高みを目指せる環境で過ごしてほしいという保護者の思いがあったであろうことを、理解して頂きたいと思います。実際に美都町に住み始めてから、居住地域によって子どもの学びの環境が違ってしまふことは、周辺地域から中心部への人の流出につながっている一要因であると感じています。</p>  | No.1 7 における回答のとおり          | 無 |
| 24 | P.11 | <p>検討期間に他の兄弟の進学が生じることが予想されるため、早急な対応を望んでいます。また、移行期間中の益田東中学校への進学受入については、柔軟に対応して頂きたいと思います。</p>   | 再編の際には、ご要望を確認しながら対応を検討します。 | 無 |

|    |      |   |   |   |
|----|------|---|---|---|
| 25 | P.11 | <p>保護者アンケートのパーセンテージを主な理由として再編の方向に向かうのはいかがかと思う。アンケートを元に有識者会議が開かれると聞いていたが、その内容・結果については何も記載されていないがどういうことか。</p> | <p>一番大切なのは学ぶ子どもたちの環境です。特に児童生徒数が減少する中で、中学生期においては同世代によるコミュニティの構築が必要であり、集団の中での社会性を養うためにも1学年複数クラスの確保を目標として、再編を検討することとしています。アンケート結果を主な理由としているのではなく、生徒数の今後の推移や多人数の中で様々な体験や人間関係を通じて成長してほしいなどの保護者アンケートにおける意見、学校長や保護者等で組織する「学校整備計画審議会」からの答申なども踏まえ、総合的に検討した結果であることをご理解いただきたいと思います。なお、審議会については、今後を見据えた学校再編計画の見直しについての事項を諮問し、慎重審議の上で答申頂いたところです。その内容は市公式ウェブサイトにも掲載していますのでご確認くださいと思います。</p> | 無 |
| 26 | P.11 | <p>前期実施計画策定時には再編の対象として位置付けていなかったとあるが、なぜ急に検討することになったのか。</p>  | <p>「今後の小中学校のあり方に関する基本指針」において、中学校における今後の学校のあり方では「同世代によるコミュニティによってしっかりと社会性を身に付けることが必要な時期であり、中学校期における「ひとづくり」を推進する上で1学年複数クラスを目標に再編を検討する。」こととしています。前回の計画策定でも再編の対象校ではあったものの、「地域間における再編への考え方がそれぞれ違うことから、今後更なる生徒数の減等で運営に支障が出る場合に学校・地域・行政が一体となって十分に協議を行うものとして今回は対象としない」という審議結果となったところです。前計画が策定されてから5年が経過し、この度の審議においては、前計画の中間評価を行った上で、その結果を踏まえて検討したことによるものです。</p>                       | 無 |

|    |      |   |  |   |
|----|------|---|--|---|
| 27 | P.11 | <p>美都地区保護者協議会から要望書とアンケート結果が提出されたとの事ですが、保護者協議会が正式に立ち上がっている事を初めて知りました。アンケート結果を取りまとめ・報告するために保育所、小学校、中学校の保護者の代表が集まったと認識しております。またこのパブリックコメントを実施する事の文書が保護者宛に配布されましたが、差出人は保護者協議会（仮）となっております。（仮）である団体の意見を反映することはとても違和感があります。また、正式に保護者協議会を立ち上げて要望書を提出するのであれば、全ての保護者及び地域にも周知・相談をするべきだと思います。また、アンケート実施についてですが、どのような経緯で実施したのか不明です。新聞報道がされましたがその時点では、地域の方は何も知らない状態と思いますがそのこと自体、問題だと思います。保護者・地域が協議を重ね、合意した上で再編計画の見直しができるべきだと思います。</p> | <p>令和6年6月に美都地区内の保育所・小中学校の保護者で構成する美都地区保護者協議会より、美都地区内の保護者を対象に行った再編に関するアンケートの結果と今後の再編計画の見直しの際に美都中学校の今後のあり方を検討課題としてほしい旨の要望を受け取ったところです。</p> <p>ただ、パブリックコメントの実施に際しては、あくまで市において規定する取扱い方法により、本庁舎や分庁舎、公民館での閲覧、市公式ウェブサイトへの掲載にて対応しております。</p> <p>これまでも保護者の皆さんの再編に対する意見をお話しいただく場にお招きいただいたこともあり、そこでのご意見やアンケートについては美都地区保護者協議会において実施されとのことを伺っておりましたので、要望については受け取ったところであります。</p> <p>新聞で報道されたことについては、美都中学校の再編が決定したということではなく、あくまで再編を検討する旨を今後の再編計画へ盛り込むこととしたので、保護者や地域の方々等で構成する「再編対策協議会」を地域で立ち上げて頂き、そこを窓口として市教育委員会と協議を進めることとなります。</p> | 無 |
| 28 | P.11 | <p>保護者と地元の方が協議会等を作り進めていくものだと思っていました。協議会もなく統合の決定に驚きました。しかも新聞での発表で知るという事で、保護者も地元の人も驚いたのではないかと。</p>  | <p>現時点で学校の再編を決定したわけではなく、再編を検討することについて再編計画に盛り込むこととしています。また、再編の計画を策定した後において、保護者や地域の方々等で構成する「再編対策協議会」を地域で立ち上げて頂き、そこを窓口として市教育委員会と協議を進めることとなります。</p>  | 無 |

|    |      |   |  |   |
|----|------|---|--|---|
| 29 | P.11 | <p>少人数の学校、小規模校の何が悪いのか？美都中学校の生徒または、小規模校の生徒や卒業生の成績、生活態度に問題があるのでしょうか？</p>  | <p>小規模校にもメリット、デメリットはあると認識しています。文部科学省の公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引では、学校教育において、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望まれるとあり、児童生徒が多様な考えに触れる機会を創出することも重要であると考えています。また、基本指針において、特に発達段階における中学生が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合うことなどを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要としており、美都中学校の生徒又は小規模校の生徒や卒業生の成績、生活態度に問題があるわけではありません。</p> | 無 |
| 30 | P.11 | <p>現在の在校生、近年の卒業生、美都中学校経験の教員の方の意見も必要ではないのでしょうか？</p>  | <p>実施計画の見直しにあたっては、学識経験者や学校長、保護者等で組織する「学校整備計画審議会」へ計画策定に必要な事項を諮問し、慎重審議を頂く中で答申を頂いたところです。その中では、学校の先生の意見も頂いたところです。この答申を基に計画を策定しており、今後の計画推進に向けては、中学生自身の意見を参考とする機会を設定するなど、ご意見を踏まえながら取り組んでまいります。</p>   | 無 |
| 31 | P.11 | <p>現在の小学校、中学校の子どもの人数を見たときに自分たちの時の人数より減少しているのは明らかなのと、これから先を見たときに今よりもっと減ると思うので、再編は仕方がないのかなと思います。自分の子どもも、地元の小学校ではなく、市内の小学校に通わせています。登校、クラスの人数の多さなど、いろいろな面で良い所、悪い所があるのが分かりました。再編するうえで、いろいろな所を調整しながらやってもらえたらいいなと思います。</p>           | <p>No.2 1 における回答のとおり</p>   | 無 |
| 32 | P.11 | <p>6（2）②美都中学校について、益田東中学校との再編検討することについて児童生徒数が減少してきている中、実施計画策定時には対象外となっていたにも関わらず、後期の計画に組み入れてくださりありがとうございます。地域の方の意見等もあるかとは思いますが、自分の子どもの成長を考えた時になるべく早い段階でより多くの同年代の子どもと関わってほしいと願っていたので、（今後の「協議会」次第とは思いますが）良い方向に話がまとまればよいと思います。</p> | <p>No.9 における回答のとおり</p>   | 無 |

|    |      |   |   |   |
|----|------|---|---|---|
| 33 | P.11 | 通学方法などの不安がみなさんあるとアンケート結果からも見受けられましたので、そこはよく協議をしていってほしいです。   | これまで再編した学校においては、通学や生活面などにおける不安があるのご意見を頂きました。その不安の解消を図るべく、幾度となく保護者と協議を進め、子どもたちが安心して学校生活を送れるように進めてきたところです。今回も同様に対応することとしています。 | 無 |
| 34 | P.11 | 6（2）②美都中学校について、人数が大幅に減った中、再編検討はやむなしと考えますが、以下の点の要検討を願います。<br>登下校に今まで以上に時間を要します。長期休暇中も含めて、部活動参加等で格差を生まない方法をしっかりと考えてください。<br>美都学校給食共同調理場は、地産地消給食の核となる施設です。豊川小学校を配食先に加える等、維持に努めてください。<br>益田に通学しても、生活の場は美都町、真砂等、外縁部を選択できるように、市役所全体で取り組んでください。                  | 登下校については、No.33における回答のとおり。<br>美都給食共同調理場については、ご意見を参考に今後検討します。<br>また、中心市街地から離れたところでも通学できるようにとの意見についても、ご意見を踏まえて市として検討してまいります。   | 無 |
| 35 | P.11 | 学校再編のアンケートでもずっと賛成してきました。そして、統合が決まり、その事を中学校1年生の子どもに伝えた際「なんで親たちが勝手に決めるん？私らの意見聞いてないじゃん」と…。それを聞いた瞬間”あっ、たしかに”と思いました。アンケートなど度々ありましたが、すべて親が記入するもので、直接子どもに対してはなかったなど。（アンケートの際親子での話し合いはしました）令和5年4月にこども家庭庁ができた「こどもまんなか社会」を実現すると言っているのです、これからの参考になればと思います、書かせて頂きました。 | 美都中学校の学校再編が決まったわけではなく、子どもたちの将来を考えて再編の計画に盛り込んで今後保護者や地域の方々との協議を進めて行くこととしています。この協議の機会において、当事者である子どもたちの意見も参考にし進めてまいりたいと思います。    | 無 |

|    |      |   |  |   |
|----|------|---|--|---|
| 36 | P.11 | <p>美都中学校の益田東中学校への再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同地区に子供をもつ親として、再編に賛成である。</li> <li>・文部科学省他、様々な資料に記載があるように、小規模・少人数のメリットもあると思われるが、生徒数が余りにも少なすぎて、デメリット及び弊害の方がはるかに大きい。</li> </ul> <p>とくに懸念するのは、集団の人数が少ないと、自分の能力や可能性、価値観や考え方が限定されてしまうととも、競争心が養われないことであると思う。これらは、ある瞬間に生まれるものではなく、小学校→中学校→高校→進学→社会人と次第に次のステップへと形成されていくと考えるため、早い時期から、このような環境が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく地域の人々が、「学校がなくなると地域が廃れる」と言うが、学校再編問題の真の当事者たちは『子供たち』、そしてその『親』である。これらの意見が最優先であり、子供たちの未来を第一に考えた議論をしてほしい。</li> </ul> <p>また学校が無くなることにより、本当に地域が廃れることになるのでしょうか。人数の多い学校に行かせたいがため、転居する人を多く見ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の美都中学校の授業状況や体育祭等の課外活動を直接見てはいないが、本当に「子供たちのためにより良い学校生活」ができているのが疑問である。</li> <li>・登下校の送迎の負担などのために、仕方なく、美都中学校に通わせている保護者もいらっしゃるのではないのでしょうか。</li> <li>・令和10年までに再編ではなく、より一層スピーディーな進展を期待します。</li> <li>・親の立場から言うと、現状の美都中学校への進学は難しいと考えます。</li> </ul> | No.10における回答のとおり  | 無 |
| 37 | P.11 | <p>学力面では、きめ細やかな指導をしてもらえ、親としてはとてもいいと思っていますが、小規模校ゆえ、社会性の育ちが少し足りないところもあるように感じます。今後の美都中学校のあり方については、これから美都地域で育っていく子どもが居る家庭の声を大切にしてほしいと思います。</p>  | 基本指針において、中学校の今後のあり方として社会性を養う上で、1学年複数クラスの確保を目標として再編を検討することとしています。再編にあたっては子どもさんがいる家庭の声のみならず、多くの方々の声を大切にしながら協議を進めて行くこととします。 | 無 |

|    |      |   |   |          |
|----|------|---|---|----------|
| 38 | P.12 | <p>『この計画を進めるために』（12P）の中に「5通学については、児童・生徒にとって過重な負担とならないように考慮した適切な通学方法を検討します。また、関係機関とも協議し安全安心な通学体制の確保を図ります。」とあるが、通学方法は路線バスが利用できる環境にある場合は、路線バスを利用するように検討していただきたい。路線バスの利用者減少で廃止されれば、地域公共交通は衰退します。そして地域も衰退していきます。美都中学校の生徒が益田東中学校へ統合後、路線バスによる通学を最優先していただきたい。幸いにも都茂線は平日8往復16便が運行され、通学に利用可能です。高校進学後の3年間もバス通学できるようにするため中学時代に利用して存続させなければなりません。もちろん、中学も高校も市が運賃助成をすべきです。地域公共交通を活性化させる視点からも通学のあり方を考えていただきたい。</p> | <p>学校の時刻に合わない場合等においてのみ、スクールバス・タクシーの利用としており、過去に再編を実施した学校においても公共交通機関を第一に利用するように進めております。</p> | <p>無</p> |
|----|------|---|---|----------|